

平成29年1月16日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(44回公演)報告
29.1.14 社会福祉法人 FOMA なごみ 深谷市新戒

昨年12月に要請を受け、29年最初の高齢者施設への公演です。

28年の公演先を調べると、前年も全く同じ日に公演を行っていました。同施設への訪問は3回目です。そこで前回の正装から祭り半纏に衣装を変えて伺いました。

この日は朝から雪がぱらつき風の強い寒い日でした。

午後1時20分現地集合で、玄関で挨拶した後控室に通され予定した2時からの公演に備えました。2時前には約40人程のデイサービス利用者と職員約10人の人達が会場に集まり、公演の時間まで職員の指導で手足を動かし健康体操をやっていました。

いよいよ我々の出番です。拍手の中栗原さんを先頭に5人の入場です。

先ず担当者から紹介され、我々からの簡単な挨拶の後「南京玉すだれクラブ」の公演が始まりました。スタートは舛田さんの「南京玉すだれ」です。口上の後調子に合わせた利用者の手拍子から演技が始まりました。次々変わる「すだれ」の形の変化にすっかり見入っていました。次に「すだれ」の変形の仕組みや「すだれ」で形をつくり「何にみえますか。」という問いへの「モノ当て」クイズをやり、その後「すだれ」に直接手に触れてもらい大きな円形に開いた状態で写真撮影もしました。次に栗原さんから「きよしのズンドコ節」を紹介し曲に合わせて演じました。根岸さんの健康体操の時間帯では、職員の人も積極的に参加してくれ、会場の全員で楽しく健康体操をしました。最後は「東京五輪音頭」です。熊連協の芸能祭も一カ月後に迫り、今回の訪問時に五輪音頭を取り入れました最後のフィニッシュ時の五輪の形も上手にまとまり大きな拍手を戴きました。終了と同時にアンコールの声が掛り「麦畑」の演技をし、再会の約束をして手を振り振りし会場を後にしました。



